

係	検 算	係 長	課長補佐	課 長	副部長	部 長

令和 7 年度 第 号

仁ノ地区排水路整備工事（その9） 見積参考資料

・「見積参考資料」は入札参加業者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。
 ・入札においては「見積参考資料」に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
 ・「見積参考資料」に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて建設工事請負契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

工事場所	高知市 春野町仁ノ			河川水路課
工事日数	日	着工 完成	令和 年 月 日 令和9年3月15日	

設計金額		円	工事の概要 別紙のとおり
内 訳	工事費	円	
	消費税及び 地方消費税 相当額	円	
工事請負対象金額		円	工事施工理由 本工事は、仁淀川河口左岸に展開する低平農業地帯である春野町仁ノ地区の湛水被害を軽減するため排水路整備を行うものである。
消費税及び地方消費税相当額抜きの 工事請負対象金額		円	
摘 要			

別紙

工事の概要

水路2-1

施工延長 L=269.7m

ブロック積工

コンクリートブロック (A=904m²) L= 407.7 m

カルバート工

場所打函渠 (B=6, 500mm×H=1, 500mm) L= 5.0 m

場所打函渠 (B=6, 600mm×H=1, 500mm) L= 3.8 m

擁壁工

場所打擁壁 (V=235m³) L= 281.2 m

舗装工

コンクリート舗装工 (t=10cm) V= 100 m³

路盤工 (t=10cm) A= 977 m²

アスファルト舗装工 (t=5cm) A= 76 m²

路盤工 (t=22cm) A= 45 m²

防護柵工

防護柵工 (H=1, 100mm) L= 236.8 m

別紙

新設水路	施工延長	L=293.5m			
舗装工					
コンクリート舗装工		(t=10cm)	V=	47	m ³
防護柵工					
防護柵工		(H=1, 100mm)	L=	239.3	m
水路1-4-1	施工延長	L=362.7m			
擁壁工					
場所打擁壁工		(V=273m ³)	L=	362.7	m
排水構造物工					
場所打水路		(V=17m ³)	L=	108.5	m
防護柵工					
防護柵工		(H=1, 100mm)	L=	324.6	m
水路1-5	施工延長	L=407.4m			
擁壁工					
場所打擁壁工		(V=121m ³)	L=	256.3	m

別紙

舗装工						
	コンクリート舗装工	(t=10cm)	V=	139	m3	
	路盤工	(t=10cm)	A=	1393	m2	
防護柵工						
	防護柵工	(H=1, 100mm)	L=	422.3	m	
水路2-2	施工延長	L=164.2m				
擁壁工						
	場所打擁壁工	(V=106m3)	L=	161.9	m	
舗装工						
	コンクリート舗装工	(t=10cm)	V=	56	m3	
	路盤工	(t=10cm)	A=	563	m2	
防護柵工						
	防護柵工	(H=1, 100mm)	L=	162.8	m	

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
土地改良工事					
仁ノ地区排水路整備工事(その9)					
水路2-1					
土工					
掘削工	式	1			明細表 第1号
路床盛土工	式	1			明細表 第2号
埋戻工	式	1			明細表 第3号
残土処理工・搬入土工	式	1			明細表 第4号
ブロック積工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
3号7 ^号 ロック積工	式	1			明細表 第5号
足場工	式	1			明細表 第6号
カハート工					
4号函渠	式	1			明細表 第7号
5号函渠	式	1			明細表 第8号
落差工					
6号重力式擁壁	式	1			明細表 第9号
止壁	式	1			明細表 第10号
取合せ水路	式	1			明細表 第11号
排水構造物工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
底張工	式	1			明細表 第12号
水路工	式	1			明細表 第13号
擁壁工					
1号重力式擁壁	式	1			明細表 第14号
2号重力式擁壁	式	1			明細表 第15号
4号重力式擁壁	式	1			明細表 第16号
5号重力式擁壁	式	1			明細表 第17号
坂路工					
3号坂路	式	1			明細表 第18号
4号坂路	式	1			明細表 第19号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装工					
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第20号
アスファルト舗装工	式	1			明細表 第21号
防護柵工					
防護柵工	式	1			明細表 第22号
付帯工					
構造物取壊し工	式	1			明細表 第23号
仮復旧工	式	1			明細表 第24号
仮設工					
仮締切工	式	1			明細表 第25号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮排水工	式	1			明細表 第26号
交通管理工	式	1			明細表 第27号
工事用道路工	式	1			明細表 第28号
新設水路					
舗装工					
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第29号
防護柵工					
防護柵工	式	1			明細表 第30号
水路1-4-1					
土工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削工	式	1			明細表 第31号
路体盛土工	式	1			明細表 第32号
路床盛土工	式	1			明細表 第33号
埋戻工	式	1			明細表 第34号
残土処理工・搬入土工	式	1			明細表 第35号
擁壁工					
1号重力式擁壁	式	1			明細表 第36号
2号重力式擁壁	式	1			明細表 第37号
排水構造物工					
現場打ちL型水路	式	1			明細表 第38号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装工					
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第39号
防護柵工					
防護柵工	式	1			明細表 第40号
水路1-5					
土工					
掘削工	式	1			明細表 第41号
路床盛土工	式	1			明細表 第42号
埋戻工	式	1			明細表 第43号
残土処理工・搬入土工	式	1			明細表 第44号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
擁壁工					
2号重力式擁壁	式	1			明細表 第45号
舗装止め擁壁	式	1			明細表 第46号
舗装工					
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第47号
防護柵工					
防護柵工	式	1			明細表 第48号
水路2-2					
土工					
掘削工	式	1			明細表 第49号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体盛土工	式	1			明細表 第50号
路床盛土工	式	1			明細表 第51号
埋戻工	式	1			明細表 第52号
残土処理工・搬入土工	式	1			明細表 第53号
擁壁工					
1号重力式擁壁	式	1			明細表 第54号
2号重力式擁壁	式	1			明細表 第55号
付帯構造物工					
プレキャストU型側溝	式	1			明細表 第56号
舗装工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート舗装工	式	1			明細表 第57号
防護柵工					
防護柵工	式	1			明細表 第58号
残土仮置き場撤去					
残土仮置き場撤去工					
掘削工	式	1			明細表 第59号
路体盛土工	式	1			明細表 第60号
残土処理工・搬入土工	式	1			明細表 第61号
直接工事費計					
共通仮設費積上分					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費	式	1			
仮設材運搬費	式	1			明細表 第62号
技術管理費	式	1			
土質等試験費	式	1			明細表 第63号
地質調査費	式	1			明細表 第64号
営繕費	式	1			
快適トイレ	式	1			明細表 第65号
共通仮設費率分	式	1			
共通仮設費計					
純工事費					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等	式	1			
工事価格					
消費税等相当額					
請負工事費					

明細表 第 4号
残土処理工・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	4,010			施工P 第10号
土砂等運搬 小規模 ,パック材山積0.28m3(平積0.2m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	260			施工P 第11号
積込(ルース) 土砂 ,土量50,000m3未満	m3	4,300			施工P 第12号
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,4.0km以下	m3	4,270			施工P 第13号
残土処分費 ネクスリー・はるの棚,高知市春野町西畑 悪土	m3	4,270			処分費
搬入土 良質土	m3	2,000			単価表 第1号
1 式 当り					

明細表 第 5号
3号ﾌﾞﾛｯｸ積工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型ﾌﾞﾛｯｸ積 (ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く) 2,000kg/個以下,水抜きﾊﾞｲﾌﾞ無し	m ²	904			施工P 第 14 号
大型ﾌﾞﾛｯｸ高知県型ｱﾝﾄﾞﾗｰII (擬石面) 控50cm 603kg/個	m ²	904			
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ 大型ﾌﾞﾛｯｸ,2,000kg/個以下,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,小型車加算無し	m ³	228			施工P 第 15 号
胴込・裏込材(砕石) 大型ﾌﾞﾛｯｸ,再生ｸﾗｯｼﾞｬﾝ RC-40	m ³	303			施工P 第 16 号
目地材 厚10mm 瀝青質板	m ²	52			
ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く)	m	408			施工P 第 17 号
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 ﾊﾈ付 控50cm用 L=2500mm ｱﾝﾄﾞﾗｰII用同等品	個	163			
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物,ﾊﾞｯｸｺｯ(ｸﾚﾝ機能付)打設,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,養生工 無し,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	10			施工P 第 18 号
目地板 30m ² 以上,瀝青質目地板t=10	m ²	4			施工P 第 19 号
ﾏｯﾄﾚｽ基礎 B1400×H400,材工共	m	408			

明細表 第 6号
足場工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
足場工 単管傾斜足場	掛m ²	450			単価表 第 2 号
1 式 当り					

明細表 第 7号
4号函渠

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基礎碎石 22.5cmを超え27.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	40			施工P 第 20 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，パッド(クレーン機能付)打設，C=170kg/m ³ (高炉)，養生工無し， しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	8			施工P 第 21 号
型枠 一般型枠，均しコンクリート	m ²	5			施工P 第 22 号
コンクリート(場所打函渠) 24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し	m ³	52			施工P 第 23 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	1.27			単価表 第 3 号
鉄筋工 SD345 D16～D25，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	2.70			単価表 第 4 号
鉄筋工 SD345 D29～D32，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.92			単価表 第 5 号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	110			施工P 第 24 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	90			単価表 第 6 号
支保工 パッド・サポート支保，f≤40kN/m ²	空m ³	49			単価表 第 7 号

明細表 第 7号
4号函渠

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
護岸コンクリート	m	5			単価表 第 8 号
箱抜き しない<標準>(全ての費用)	m	2			施工P 第 26 号
横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込 , ビーム式 , 支柱間隔3m , H=1,100 センタータイプ メッキ , 週休2日補正:現場閉所(月単位)	m	17			単価表 第 9 号
1 式 当り					

明細表 第 8号
5号函渠

明細表

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎碎石 22.5cmを超え27.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	31			施工P 第 20 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，パツホリ(クレーン機能付)打設，C=170kg/m ³ (高炉)，養生工無し， しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	6			施工P 第 21 号
型枠 一般型枠，均しコンクリート	m ²	5			施工P 第 22 号
コンクリート(場所打函渠) 24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し	m ³	39			施工P 第 23 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.92			単価表 第 3 号
鉄筋工 SD345 D16～D25，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	2.26			単価表 第 4 号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	86			施工P 第 24 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	83			単価表 第 6 号
支保工 パイプサポート支保，f≤40kN/m ²	空m ³	38			単価表 第 7 号
護岸コンクリート	m	4			単価表 第 10 号

明細表 第 10号
止壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
止壁	箇所	1			単価表 第 11 号
1 式 当り					

明細表 第 12号
底張工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 別紙、施工単価条件一覧表(明細表 第12号-001)参照	m ³	306			施工P 第 32 号
型枠 一般型枠, 小型構造物	m ²	31			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上, 瀝青質目地板t=10	m ²	31			施工P 第 19 号
暗渠排水管 掘付, 波状管, 50~150mm, 継手材料要, しない<標準>(全ての費用)	m	204			施工P 第 33 号
ウイープホール取付 底版、φ150 吸出し防止材含む	箇所	4			
1 式 当り					

明細表 第 13号
水路工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2号U型水路 B300×H300	m	18			単価表 第 14 号
3号U型水路 B400×H600	m	2			単価表 第 15 号
4号U型水路 B450×H500	m	6			単価表 第 16 号
1号L型水路 B400×H400	m	1			単価表 第 17 号
2号L型水路 B300×H400	m	5			単価表 第 18 号
ヒューム管 D300	m	4			単価表 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 14号
1号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ2m以上5m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	52			施工P 第 37 号
1 式 当り					

明細表 第 15号
2号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 平均高さ0.8m以上1.0m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算無し	m3	172			施工P 第 38 号
1 式 当り					

明細表 第 16号
4号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ1mを超え2m未満，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	5			施工P 第 39 号
1 式 当り					

明細表 第 17号
5号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ1mを超え2m未満，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	7			施工P 第 39 号
1 式 当り					

明細表 第 18号
3号坂路

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 平均高さ0.8m以上1.0m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算無し	m3	5			施工P 第 38 号
鉄止め擁壁	m	3			単価表 第 20 号
1 式 当り					

明細表 第 19号
4号坂路

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ1mを超え2m未満,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,基礎碎石有り,均しコンクリート無し,一般養生,圧送管延長無し,小型車加算無し,一般型枠	m3	8			施工P 第 39 号
鍬止め擁壁	m	3			単価表 第 20 号
1 式 当り					

明細表 第 20号
 コンクリート舗装工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤(車道・路肩部) 路盤材(砕石各種), 100 mm, 1層施工, しない<標準>(全ての費用)	m ²	977			施工P 第 41 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, 現場内小運搬無し, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	100			施工P 第 42 号
溶接金網敷設 φ6*150*150, スペース入, 材工共	m ²	1,000			
型枠 一般型枠, 小型構造物	m ²	10			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上, 瀝青質目地板t=10	m ²	10			施工P 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 22号
防護柵工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込 , ヒール式 , 支柱間隔3m , H=1,100 センタータイプ メッキ , 週休2日補正:現場閉所(月単位)	m	237			単価表 第 9 号
箱抜き しない<標準>(全ての費用)	m	14			施工P 第 26 号
1 式 当り					

明細表 第 23号
 構造物取壊し工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, しない<標準>(全ての費用)	m	8			施工P 第 45 号
舗装版破碎積込(小規模土工) しない<標準>(全ての費用)	m ²	76			施工P 第 46 号
殻運搬 舗装版破碎, 機械積込(小規模土工), DID区間無し, 7.0km以下, しない<標準>(全ての費用)	m ³	4			施工P 第 47 号
処分料 再生プラント(As) 再生AS-4	m ³	4			処分費
構造物とりこわし 無筋構造物, 機械施工, 週休2日補正:現場閉所(月単位)	m ³	32			単価表 第 21 号
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, DID区間無し, 10.9km以下, しない<標準>(全ての費用)	m ³	32			施工P 第 48 号
処分料 再資源化施設(無筋コンクリート) 再生骨材-2	m ³	32			処分費
構造物とりこわし 鉄筋構造物, 機械施工, 週休2日補正:現場閉所(月単位)	m ³	157			単価表 第 22 号
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, DID区間無し, 10.9km以下, しない<標準>(全ての費用)	m ³	157			施工P 第 49 号
処分料 再資源化施設(鉄筋コンクリート) 再生骨材-2	m ³	157			処分費

明細表 第 24号
仮復旧工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超, 30 mm, 再生密粒度アスコン(13), 瀝青材料無し, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し, 夜間割増無し, 溶融スラグ無し	m ²	76			施工P 第 50 号
舗装版破碎積込(小規模土工) しない<標準>(全ての費用)	m ²	76			施工P 第 46 号
殻運搬 舗装版破碎, 機械積込(小規模土工), DID区間無し, 7.0km以下, しない<標準>(全ての費用)	m ³	2			施工P 第 47 号
処分料 再生プラント(As) 再生AS-4	m ³	2			処分費
不陸整正 補足材料無し, しない<標準>(全ての費用)	m ²	45			施工P 第 51 号
1 式 当り					

明細表 第 26号
仮排水工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ設置・撤去	箇所	2			単価表 第 25 号
排水ポンプ運転 排水量120m ³ /h以上450m ³ /h未満，全揚程10m，常時排水	日	164			単価表 第 26 号
排水ポンプ運転 排水量120m ³ /h以上450m ³ /h未満，全揚程10m，常時排水	日	164			単価表 第 26 号
暗渠排水管 掘付，波状管，50～150mm，継手材料要，しない<標準>(全ての費用)	m	408			施工P 第 33 号
1 式 当り					

明細表 第 27号
交通管理工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 交通誘導警備員A	人	50			単価表 第 27 号
交通誘導警備員 交通誘導警備員B	人	50			単価表 第 28 号
1 式 当り					

明細表 第 32号
路体盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	72			施工P 第 53 号
1 式 当り					

明細表 第 33号
路床盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路床盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	510			施工P 第 6 号
1 式 当り					

明細表 第 35号
残土処理工・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	360			施工P 第 10 号
土砂等運搬 小規模 ,パック材山積0.28m3(平積0.2m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し ,1.0km以下	m3	400			施工P 第 11 号
積込(ルース) 土砂 ,土量50,000m3未満	m3	760			施工P 第 12 号
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,4.0km以下	m3	760			施工P 第 13 号
残土処分費 ネクスリー・はるの棚,高知市春野町西畑 悪土	m3	760			処分費
搬入土 良質土	m3	990			単価表 第 1 号
1 式 当り					

明細表 第 36号
1号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ2m以上5m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	49			施工P 第 37 号
1 式 当り					

明細表 第 37号
2号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 平均高さ0.8m以上1.0m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算無し	m3	225			施工P 第 38 号
1 式 当り					

明細表 第 38号
現場打ちL型水路

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	17			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	130			施工P 第 29 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.32			単価表 第 12 号
基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クワッツァン RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	65			施工P 第 31 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	2			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	2			施工P 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 39号
 コンクリート舗装工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤(車道・路肩部) 路盤材(砕石各種), 100 mm, 1層施工, しない<標準>(全ての費用)	m ²	1,600			施工P 第 41 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, 現場内小運搬無し, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	160			施工P 第 42 号
溶接金網敷設 φ6*150*150, スペース入, 材工共	m ²	1,597			
型枠 一般型枠, 小型構造物	m ²	16			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上, 瀝青質目地板t=10	m ²	16			施工P 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 42号
路床盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路床盛土 2.5m以上4.0m未満	m3	36			施工P 第 6 号
1 式 当り					

明細表 第 44号
残土処理工・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	110			施工P 第 10 号
土砂等運搬 小規模 ,パック材山積0.28m3(平積0.2m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し ,1.0km以下	m3	520			施工P 第 11 号
積込(ルース) 土砂 ,土量50,000m3未満	m3	640			施工P 第 12 号
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,4.0km以下	m3	640			施工P 第 13 号
残土処分費 ネクスリー・はるの棚,高知市春野町西畑 悪土	m3	640			処分費
搬入土 良質土	m3	430			単価表 第 1 号
1 式 当り					

明細表 第 45号
2号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 平均高さ0.8m以上1.0m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算無し	m3	121			施工P 第 38 号
1 式 当り					

明細表 第 47号
 コンクリート舗装工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤(車道・路肩部) 路盤材(砕石各種), 100 mm, 1層施工, しない<標準>(全ての費用)	m ²	1,390			施工P 第 41 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, 現場内小運搬無し, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	139			施工P 第 42 号
溶接金網敷設 φ6*150*150, スペース入, 材工共	m ²	1,393			
型枠 一般型枠, 小型構造物	m ²	14			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上, 瀝青質目地板t=10	m ²	14			施工P 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 48号
防護柵工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込 , ヒール式 , 支柱間隔3m , H=1,100 センタータイプ メッキ , 週休2日補正:現場閉所(月単位)	m	422			単価表 第 9 号
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径90mm以上100mm未満 , 削孔深さ200mm以上400mm未満	孔	134			施工P 第 52 号
1 式 当り					

明細表 第 49号
掘削工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削 土砂，オープンカット，押土無し，障害無し，5,000m3未満	m3	110			施工P 第 1 号
掘削 土砂，片切掘削	m3	8			施工P 第 54 号
床掘り 土砂，上記以外(小規模)，しない<標準>(全ての費用)	m3	240			施工P 第 3 号
1 式 当り					

明細表 第 50号
路体盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 4.0m以上,20,000m3未満,障害無し	m3	8			施工P 第 55 号
1 式 当り					

明細表 第 53号
残土処理工・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	110			施工P 第 10 号
土砂等運搬 小規模 ,パック材山積0.28m3(平積0.2m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,1.0km以下	m3	240			施工P 第 11 号
積込(ルース) 土砂 ,土量50,000m3未満	m3	340			施工P 第 12 号
土砂等運搬 標準 ,パック材山積0.8m3(平積0.6m3) ,土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,DID区間無し,4.0km以下	m3	340			施工P 第 13 号
残土処分費 ネクスリー・はるの棚,高知市春野町西畑 悪土	m3	340			処分費
搬入土 良質土	m3	340			単価表 第 1 号
1 式 当り					

明細表 第 54号
1号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ2m以上5m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	15			施工P 第 37 号
1 式 当り					

明細表 第 55号
2号重力式擁壁

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 平均高さ0.8m以上1.0m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石有り，均しコンクリート無し，一般養生・特殊養生(練炭)，小型車加算無し	m3	90			施工P 第 38 号
1 式 当り					

明細表 第 57号
 コンクリート舗装工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤(車道・路肩部) 路盤材(砕石各種), 100 mm, 1層施工, しない<標準>(全ての費用)	m ²	563			施工P 第 41 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, 現場内小運搬無し, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	56			施工P 第 42 号
溶接金網敷設 φ6*150*150, スペース入, 材工共	m ²	563			
型枠 一般型枠, 小型構造物	m ²	6			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上, 瀝青質目地板t=10	m ²	6			施工P 第 19 号
1 式 当り					

明細表 第 60号
路体盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 4.0m以上,20,000m3未満,障害無し	m3	820			施工P 第 55 号
1 式 当り					

明細表 第 64号
地質調査費

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
簡易支持力試験 エレフット	箇所	4			
1 式 当り					

単価表 第 2号

足場工

単価表

(100)

金額 :

内容 : 単管傾斜足場

1 掛m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1.5			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	4.5			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2.7			[1]
ラフテレーンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ホベレタ付き	日	0.8			[1]
諸雑費 33 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	掛m ² 当り)
	(1	掛m ² 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : 単管傾斜足場 安全ネットの有無 : 安全ネットなし					

単価表 第 3号

鉄筋工

単価表

(1)

金額 :

内容 : SD345 D13 , 一般構造物 , 10t未満 , 週休2日補正:現場閉所(月単位)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D13 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D13 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 一般構造物 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 4号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD345 D16～D25，一般構造物，10t未満，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D16～25 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
<p>*** 施工条件 ***</p> <p>材料費(規格・径) : SD345 D16～D25</p> <p>市場単価(規格・仕様) : 一般構造物</p>					
<p>市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満</p> <p>市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無</p> <p>市場単価(作業時間帯) : 標準</p>					
<p>市場単価(トン内作業) : トン内作業なし</p> <p>市場単価(法面作業) : 法面作業なし</p> <p>市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満</p>					
<p>市場単価(構造物種別) : 一般構造物</p> <p>週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(月単位)</p>					

単価表 第 5号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD345 D29～D32，一般構造物，10t未満，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D29～32 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D29～D32 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 一般構造物 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 6号

足場工

単価表

(100)

金額：

内容：手摺先行型枠組足場

1 掛m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1.6			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	7			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1.3			[1]
ラフテレーンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ホベレタ付き	日	1.4			[1]
諸雑費 34 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	掛m ² 当り)
	(1	掛m ² 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : 手摺先行型枠組足場 安全ネットの有無 : 安全ネットなし					

単価表 第 7号

支保工

単価表

(100)

金額 :

内容 : ハ°イ°ホ°ト支保 , $f \leq 40\text{kN/m}^2$

1 空m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2.6			[1]
型わく工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	4.7			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2.2			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	5.1			[1]
諸雑費 15 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	空m3 当り)
	(1	空m3 当り)
*** 施工条件 ***					
工法	: ハ°イ°ホ°ト支保				
総設置数量	: 40空m3を超える				
支保耐力	: $f \leq 40\text{kN/m}^2$				

単価表 第 9号

横断・転落防止柵設置工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，H=1,100 センタータイプ メッキ，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工(市場単価) コンクリート建込 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
転落防止柵(構造物用) @3mH=1.10m ^ハ イ ^フ 4本 センタータイプ メッキ	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
*** 施工条件 ***					
施工区分	: コンクリート建込				
防護柵の種類	: ビーム式				
支柱間隔	: 支柱間隔3m				
材料区分	: H=1,100 センタータイプ メッキ				
施工規模	: 100m以上				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
週休2日補正(標準の市場単価のみ)	: 週休2日補正:現場閉所(月単位)				

単価表 第 11号

止壁

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，パツク納(クレーン機能付)打設，24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下，一般養生，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m3	0.612			施工P 第 28 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	3.060			施工P 第 29 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.02			単価表 第 12 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.003			単価表 第 3 号
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 12号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 t 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D13 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D13 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 差筋及び杭頭処理 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 13号

取合せ水路

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，バックホウ(クレーン機能付)打設，24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下， 一般養生，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	1.160			施工P 第30号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	5.200			施工P 第24号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，バックホウ(クレーン機能付)打設，C=170kg/m ³ (高炉)，養生工無し， しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.360			施工P 第21号
型枠 一般型枠，均しコンクリート	m ²	0.200			施工P 第22号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	3.600			施工P 第31号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.077			単価表 第3号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 15号

3号U型水路

単価表

(1)

金額：

内容：B400×H600

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.285			施工P 第35号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	2.700			施工P 第29号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.029			施工P 第19号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	0.900			施工P 第31号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 16号

4号U型水路

単価表

(1)

金額：

内容：B450×H500

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.263			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	2.300			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.026			施工P 第 19 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	0.950			施工P 第 31 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 17号

1号L型水路

単価表

(1)

金額：

内容：B400×H400

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.139			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	0.950			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.014			施工P 第 19 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クワッチャン RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	0.583			施工P 第 31 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.002			単価表 第 12 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 18号

2号L型水路

単価表

(1)

金額：

内容：B300×H400

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.128			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	0.950			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.013			施工P 第 19 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クワッチャン RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	0.550			施工P 第 31 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(月単位)	t	0.002			単価表 第 12 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 19号

ヒューム管

単価表

(1)

金額：

内容：D300

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ヒューム管 (B形管) 据付, 300mm, 90° 巻き, 基礎碎石有り, 外圧管2種, 18-8-25 (20) (高炉) W/C=60% 以下, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m	1			施工P 第 36 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 20号

鍬止め擁壁

単価表

(10)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.750			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	10.000			施工P 第 29 号
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下，再生クラッシュラン RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	2.500			施工P 第 40 号
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

単価表 第 21号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：無筋構造物，機械施工，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 時間的制約:無	m3	1			週休2日補正：現場閉所(月単位)
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 無筋構造物 作業区分 : 機械施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 低騒音・低振動対策の有無 : 低騒音・低振動対策なし					
週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 22号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：鉄筋構造物，機械施工，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工 時間的制約:無	m3	1			週休2日補正：現場閉所(月単位)
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 鉄筋構造物 作業区分 : 機械施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 低騒音・低振動対策の有無 : 低騒音・低振動対策なし					
週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					

単価表 第 23号

大型土のう製作・設置・撤去

単価表

(10)

金額：

内容：撤去，6m以下， $-3m \leq H \leq 2m$

1 袋 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	0.09			[1] 1*10/D
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(月単位)	人	0.09			[1] 1*10/D
バックホリ運転(大型土のう工) 撤去	日	0.09			
諸雑費 0.4 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	袋 当り)
	(1	袋 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 撤去 作業半径 : 6m以下					
設置・撤去面高さ : $-3m \leq H \leq 2m$					

単価表 第 24号

伐採木・土のう袋等運搬

単価表

(1)

金額：

内容：往復運搬距離L=21.0 km, 2t積級

1 台 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転(伐採木・土のう袋等運搬) 2t積級	時間	0.7			
諸雑費	式	1			
	(1	台 当り)
<p>*** 施工条件 *** 往復運搬距離 : 往復運搬距離L=21.0 km ダンプトラックの規格 : 2t積級 タイヤ損耗条件 : 良好</p>					

単価表 第 25号

ポンプ設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：

1箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.5			
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.1			
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	2.0			
バックホリ運転(締切排水工)	日	0.5			
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 26号

排水ポンプ 運転

単価表

(1)

金額 :

内容 : 排水量120m³/h以上450m³/h未満 , 全揚程10m , 常時排水

1 日 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.17			[1]
工用水中ポンプ 運転(縮切排水工) 150mm×1台, 200mm×2台 , 全揚程10m , 常時排水	日	1			[1]
発動発電機運転(縮切排水工) 75kVA , 常時排水	日	1			[1]
諸雑費 3 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(1	日 当り)
*** 施工条件 *** 排水量区分 : 排水量120m ³ /h以上450m ³ /h未満 全揚程 : 全揚程10m 排水方法 : 常時排水					

単価表 第 29号

敷鉄板設置・撤去

単価表

(100)

金額 :

内容 : 設置・撤去

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.3			[1] 1×100/D
とび工 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.3			[1] 1×100/D
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	0.3			[1] 1×100/D
バックホリ運転(敷鉄板設置・撤去工)	日	0.3			[1] 単価表 第 30 号
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	m ² 当り)
	(1	m ² 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置・撤去					

単価表 第 30号

バックホリ運転(敷鉄板設置・撤去工)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 日 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊) 週休2日補正:現場閉所(月単位)	人	1			
軽油 一般用 バックホリ給油	リットル	119			
バックホリ(クレーン機能付)(市場価格) クローラ型 山積0.8m3・2.9t吊	供用日	1.06			
諸雑費	式	1			
	(1	日 当り)

単価表 第 31号

敷鉄板賃料(枚当り)

単価表

(1)

金額：

内容：22×1524×6096，賃料計上，供用日数175日，整備費あり

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板賃料(枚) 22×1524×6096，供用日数175日	枚	1			単価表 第 32 号
敷鉄板 22×1524×6096 整備費	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 敷鉄板の種類 : 22×1524×6096 計上区分 : 賃料計上					
継続工事の有無 : 継続工事なし 当該工事の供用日数 : 供用日数175日 整備費の有無 : 整備費あり					

単価表 第 32号

敷鉄板賃料(枚)

単価表

(1)

金額：

内容：22×1524×6096，供用日数175 日

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板 22×1524×6096 7～12箇月	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 敷鉄板の種類 : 22×1524×6096 供用日数 : 供用日数175 日					

単価表 第 33号

横断・転落防止柵撤去工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵撤去工(市場単価) コンクリート建込撤去 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
*** 施工条件 ***					
施工区分	：コンクリート建込				
防護柵の種類	：ビーム式				
支柱間隔	：支柱間隔3m				
時間的制約の有無	：時間的制約：無				
作業時間帯	：標準				
週休2日補正(標準の市場単価のみ)	：週休2日補正：現場閉所(月単位)				

単価表 第 34号

横断・転落防止柵設置工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工(市場単価) コンクリート建込 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
*** 施工条件 *** 施工区分 : コンクリート建込 防護柵の種類 : ビーム式					
支柱間隔 : 支柱間隔3m 材料区分 : 上記以外 施工規模 : 100m以上					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(月単位)					
横断・転落防止柵の規格 :					

単価表 第 35号

舗装止め擁壁

単価表

(10)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬無し，しないく標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.800			施工P 第 35 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	8.000			施工P 第 29 号
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下，再生クラッシュ RC-40，しないく標準>(全ての費用)	m ²	3.000			施工P 第 40 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	0.080			施工P 第 29 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.080			施工P 第 19 号
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

単価表 第 36号

プラスチックU型側溝

単価表

(10)

金額 :

内容 :

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝 PU3-B300-H300*2000 , 据付 , 基礎砕石あり , 再生砕石 RC-40 , 週休2日補正:現場 閉所(月単位)	m	10			単価表 第 37 号
蓋版 PC4-B300 , 据付 , 週休2日補正:現場閉所(月単位)	枚	16			単価表 第 38 号
蓋版 据付 , 40kg/枚以下 , 週休2日補正:現場閉所(月単位)	枚	2			単価表 第 39 号
鋼製クレーンクワプラスチックU型側溝用 すべり止め 溝巾300 1m用 ゴム付T-14 嵩上	枚	2			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

単価表 第 37号

U型側溝

単価表

(10)

金額 :

内容 : PU3-B300-H300*2000 , 据付 , 基礎碎石あり , 再生碎石 RC-40 , 週休2日補正:現場閉所(月単位)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:現場閉所(月単位)
プレキャストU型側溝 道路用3種 PU3-B300-H300 L=2000mm	個	4.99			
再生碎石 RC-40	m3	6.72			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)
<p>*** 施工条件 ***</p> <p>U型側溝(PU3型)の規格 : PU3-B300-H300*2000</p> <p>作業区分 : 据付</p> <p>時間的制約の有無 : 時間的制約:無</p> <p>作業時間帯 : 標準</p> <p>施工箇所 : 通常</p> <p>基礎碎石施工の有無 : 基礎碎石あり</p> <p>基礎碎石の種類 : 再生碎石 RC-40</p> <p>週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(月単位)</p> <p>U型側溝の種別 : プレキャスト道路用3種 PU3</p> <p>基礎碎石の設計数量 : 5.60 m3/10m</p>					

単価表 第 38号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：PC4-B300，据付，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約:無	枚	1.0			週休2日補正:現場閉所(月単位)
側溝蓋 道路用3種 PC4-B300	枚	1.0			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 ***					
蓋版の種類	: PC4-B300				
作業区分	: 据付				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
施工箇所	: 通常				
週休2日補正	: 週休2日補正:現場閉所(月単位)				

単価表 第 39号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40kg/枚以下，週休2日補正：現場閉所(月単位)

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40kg/枚 時間的制約:無	枚	1.0			週休2日補正：現場閉所(月単位)
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
<p>*** 施工条件 ***</p> <p>蓋版の種類 : 上記以外</p> <p>作業区分 : 据付</p>					
<p>施工区分 : 40kg/枚以下</p> <p>時間的制約の有無 : 時間的制約:無</p> <p>作業時間帯 : 標準</p>					
<p>施工箇所 : 通常</p> <p>週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(月単位)</p> <p>蓋版の規格 :</p>					

単価表 第 40号

仮設材等運搬

単価表

(1)

金額：

内容：12m以内，120kmまで，往復

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等運搬(基本運賃料金) 12m以内，120kmまで	t	1			単価表 第 41 号
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 仮設材等の製品長 : 12m以内 片道運搬距離 : 120kmまで					
深夜早朝(22:00~5:00)割増の有無 : 深夜早朝割増:無 運搬区分 : 往復					

単価表 第 41号

仮設材等運搬(基本運賃料金)

単価表

(1)

金額：

内容：12m以内，120kmまで

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼材運送120kmまで 製品長12m以内	t	1			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 仮設材等の製品長 : 12m以内 片道運搬距離 : 120kmまで					

単価表 第 42号

積込み, 取卸し費(仮設材等)

単価表

(1)

金額:

内容: 積込み, 取卸し(往復分)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の積込み, 取卸し費 積込み, 取卸し(往復分)	t	1			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 積込み, 取卸し(往復分)					

単価表 第 43号

快適トイレ設置費

単価表

(1)

金額：

内容：設置期間11.0 月

1 基 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
快適トイレ基本料金 仕様(1)～(11)項目含む	基	1			
快適トイレ賃料 仕様(1)～(11)項目含む	月	11.0			
諸雑費	式	1			
	(1	基 当り)
*** 施工条件 *** 設置期間 : 設置期間11.0 月					

施工単価条件一覧表

名称・規格・条件

明細表 第12号-001 コンクリート

無筋・鉄筋構造物，コンクリートポンプ車打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，10m³/日以上100m³/日未満，一般養生，圧送管延長無し，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し

諸経費計算情報

単価適用年月日	令和 7年11月 1日
単価適用地区	高知土木事務所 1 地区(南部地区)
工種区分	水路工事
I C T 補正 (3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理)	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (共通仮設費)	一般交通影響有り (2) - 2
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (現場管理費)	一般交通影響有り (2) - 2
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	35%を超える (1.00)
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	万円まるめ
現場環境改善費の計上有無	計上しない
熱中症対策の補正有無	補正しない
週休 2 日の補正	現場閉所 (月単位) (補正単価には、「週休2日補正:現場閉所(月単位)」と表示)

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
残土処分費 ネストリー・はるの(株), 高知市春野町西畑 悪土	m ³	2,800	明細表 第4号 ほか 処分費 見積
マットレス基礎 B1400×H400, 材工共	m	9,112	明細表 第5号 見積
マットレス基礎 B2600×H500, 材工共	m	19,781	明細表 第9号 見積
溶接金網敷設 φ6×150×150, スペース入, 材工共	m ²	1,305	明細表 第20号 ほか 見積
ウイープ [®] ホール取付 底版、φ150 吸出し防止材含む	箇所	10,160	明細表 第12号 見積
覆工板・覆工板受桁設置撤去 設置・撤去	式	248,976	明細表 第28号 見積
覆工板・受桁・桁受賃料 覆工板(鋼製すべり止め・補強型)、受桁・桁受、供用日数175日 修理費及び損耗費あり、1回使用	式	355,516	明細表 第28号 見積
簡易支持力試験 エレフト	箇所	62,000	明細表 第64号 見積
コン指数試験 4供試体/試料	試料		明細表 第63号 建設物価11月 P867
路盤材 RC-40	m ³		施工P 第41号 県単価

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
暗渠排水管 高密度ポリエチレン管(シングル構造)、有孔、φ150mm	m		施工P 第33号 建設物価11月 P388
円形空洞型枠 φ100mm×t2.7mm	m		施工P 第26号 建設物価11月 P173

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響

(1) 影響箇所

仁ノ排水機場付近

(2) 他の工事の内容

道路整備課発注：(仮称)春野町6号線道路改良工事、(仮称)春野町6号線舗装工事

(3) 他の工事の開始及び完了の時期

道路整備課発注：発注時期未定

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項

道路占用協議

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定

- (1) 高知市河川水路課が管理する仁ノ排水機場を資材および工事関係車両等の出入口として使用する場合は、第三者が侵入しないよう対策を講じること。

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

工事関係者以外が使用することの無いよう立入禁止措置を講じること。

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

(3) 維持及び補修の必要

工事車両の通行等の影響により仮設道路および現道が損傷した場合は受注者の責務において補修対策を行うこと。

3. 一般道路の占用の必要

(1) 路線名

高知市 道春野町996号線、春野町1009号線、春野町1006号線

範囲および期間については道路管理者との協議による。

【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無

2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

1. 建設発生土の搬出・・・・・・・・有

(1) 搬出先の名称 ネクストリー・はるの株式会社

搬出先の所在地 高知市春野町西畑字吹入谷1993番外

運搬距離 3.3km

その他 上記処理場所について、受注者からの提案で変更する場合は、施工計画時に発注者が各法令等に抵触しない適正な処分場所であることを確認のうえ変更することができる。

なお、処分費と運搬費の合計が設計より安価となる場合は設計変更する。

2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無

3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）

(1) 処理場所 コンクリート殻：高知市春野町弘岡中

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

アスファルト殻：高知市春野町弘岡下

廃プラスチック：高知市朝倉己

処理方法（指定） 再生処理

処理場の受入条件

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限

（1）内容

高知市公害防止条例による。

その他の事項については、特記仕様書による。

2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・・・無

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定

（1）対策

水中ポンプにより水替えを行う。

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事事資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置

(1) 工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員A 50 人

交通誘導警備員B 50 人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

6. その他

(1) 簡易支持力試験

試験箇所については監督職員との協議による。

また、床掘後の土質状況により、監督職員と協議のうえ、試験箇所を増減することができる。

その数量の増減については設計変更協議の対象とする。

(2) 搬入土

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

土取り場については監督職員との協議による。

（3）舗装版切断

切断については乾式を見込んでいる。

特記仕様書

令和7年10月1日 改正

第1条 共通仕様書の適用

1 本工事の施工にあたっては、「高知市建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達推進（グリーン購入法）

1 本工事において「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「高知県グリーン購入基本原則・基本方針及び実施計画」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法的なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木製型枠の使用について

1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと栈木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。

2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・バチ部への一般型枠の使用は可能とする。

3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページに掲

載しているので参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を監督職員に提示することで確認とする。

5 木製型枠を使用できない理由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。

6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査について

1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず「木材等を使用した公共土木施設の実績調査表」を作成し提出しなければならない。

なお、調査表の作成要領、提出は以下のとおりとする。

2 調査表の作成要領、提出について

(1) 調査様式（木材・木製型枠・木製看板を利用した公共土木工事実績調査表）、を高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページから、ダウンロードする。

(2) 記載要領を参考に必要事項を調査様式に記入し、電子納品物に格納し提出する。なお、紙納品の場合は、工事管理資料とは別にCD-R等に納めて工事完成後7日以内に監督職員へ提出すること。

第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用について

1 受注者は、請負代金額（消費税含む）が250万円以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工事に用仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

(1) ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。

ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）

イ 工事看板（1ヶ所以上）

ウ バリケード（1品以上）

エ 木製クッションドラム（1品以上）

オ 交通安全管理等の標示板

特記仕様書

令和7年10月1日 改正

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成8年3月）に準拠すること。

(2) 上記1の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記1以外の仮設備、保安施設等の工事前仮設資材で木製品をできるだけ1品以上使用すること

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注1：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注2：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注3：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注4：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

第7条 個人情報の保護について

1 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

第8条 暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害（以下この条において「不当介入」という。）の排除について

1 受注者は暴力団又は暴力団関係者から工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届け出なければならない。

2 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に被害届を提出しなければならない。

3 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除措置を講じなければならない。

4 受注者が不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。

第9条 ダンプトラック等による過積載の防止について

1 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

2 さし柵装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

3 過積載車両、さし柵装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

4 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし柵装着車等を土

砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5 建設発生土の処理及び資材の購入等にあって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

第10条 軽油単価の適正な運用について

1 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第11条 不正軽油の使用禁止

1 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第144条の32の規定による県知事の承認を受けずに製造又は譲渡された次のものをいう。

① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの

② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの

③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

2 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

第12条 工事実績データ作成、登録

1 高知市建設工事共通仕様書共通編1-1-1-6に基づき、受注者は、請負代金額500万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事実績データを登録しなければならない。

第13条 公共事業労務費調査に対する協力

1 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

2 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

3 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行える

よう、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第14条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

- 1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン 様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「コプリス・プラス」という。）により作成し、提出しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、又は、土砂の搬入量又は搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をコプリス・プラスにより作成し、提出しなければならない。
- 3 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壤汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。
- 4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用（促進）計画書（現場揭示用様式）を公衆が見やすい場所に掲げること。
- 5 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を提示すること。
- 6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。
- 7 受注者は、再生資源利用（促進）計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。

（参考）コプリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ（<https://fkplus.jacic.or.jp/>）より、利用申請等を行うことができる。

第15条 産業廃棄物管理票等の提出

- 1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の写しを提出しなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の写しを提出しなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

第16条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影し、設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

- (1) 建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合
 - ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））
 - ②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。
 - ③受注者は、監督職員に①を提出し、②の記録を提示する。
- (2) 建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合
 - 次の1)から3)のうち、いずれかの方法により確定する。

特記仕様書

令和7年10月1日 改正

- 1) コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（代表写真）
- 2) 前記「(1) 建設副産物の処理数量を重さ〔t〕により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。
 - ・コンクリート塊（鉄筋） 2.5 (t/m³)
 - ・コンクリート塊（無筋） 2.35 (t/m³)
 - ・アスファルト塊 2.35 (t/m³)
 - ・掘削土（土砂） 1.8 (t/m³)
 - ・掘削土（軟岩） 2.2 (t/m³)
 - ・掘削土（硬岩） 2.5 (t/m³)
- 3) 地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。
 - ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。(全車写真)
 - ②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあて写真撮影をする。（全車写真）
 - ③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（全車写真）
 - ④受注者は、監督職員に②③を提出する。
- (3) 受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合
 - ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。(全車写真)
 - ②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあて写真撮影をする。（全車写真）
 - ③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影を

する。（全車写真）

- (4) 建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む）を木材市場等に搬出する場合
 - ①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）（全車写真）
 - ②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（代表写真）
 - ③受注者は、監督職員に②を提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第17条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

- 1 工事の施工について、監督職員の立会を要する工種は施工計画打合せにより定めるものとする。

第18条 施工管理

- 1 高知市土木請負工事技術管理指針に基づき実施することとする。

第19条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の1から3の全てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「使用機器」という。）については、高知市土木請負工事技術管理指針の第9条（写真管理）（2）撮影基準に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事で使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、使用機器を限定するものではない。

2 デジタル工事写真における黒板情報の電子的記入

受注者は、前項1の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。黒板情報の電子的記入を行う項目は、高知市土木請負工事技術管理指針の第9条（写真管理）（2）撮影基準による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、前項2に示す黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「黒板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお、納品時に、受注者はURL「<https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。

第20条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成22年3月18日付国総施第291号）、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着するこ

とで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。また、請負代金額（税込み）が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとし、施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機（可搬式）
- ・空気圧縮機（可搬式）
- ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）
- ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
- ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）

※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第21条 交通誘導警備員の配置について

1 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させてはならない。

ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでない。

2 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごとに、1人以上配置することとする。

特記仕様書

令和7年10月1日 改正

なお、配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し、警備員に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

- 3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については、警備業者の警備員であれば、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また、警備業者の警備員の配置が困難な場合は、別に定める手続きにより、警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導警備員として従事させることができることとする。なおその際、受注者は、交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行ったうえ、交通誘導警備員として専任させること。

- 4 交通誘導警備員の人手不足により、施工箇所周辺の警備会社からの配置が困難であり、やむなく現場までの通勤が長時間となる場合は、事前に移動距離および移動時間が確認できる資料及び「交通誘導警備員の配置に関する確認書」を複数の警備業者より徴収し、監督職員に提出・協議を行うこと。

必要と認められる経費については、設計変更の対象とするものとする。

(交通誘導警備員A・Bの定義)

交通誘導警備員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員

交通誘導警備員B：警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通誘導に従事するもの

第22条 安全・訓練等

1 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、本工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上（月2回に分割可）を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- (2) 本工事内容等の周知徹底
- (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
- (4) 本工事における災害対策訓練
- (5) 本工事現場で予想される事故対策
- (6) その他、安全・訓練等として必要な事項

2 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。

3 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況を写真、工事日誌等に記録し、提出するものとする。

第23条 低騒音型・低振動型建設機械

- 1 本工事の施工は「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（平成9年建設省告示第1536号、一部改正平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、同規定に記載されていない機種・規格の建設機械により施工する場合はこの限りではない。なお、低騒音型建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督職員と協議し、普通型の建設機械を使用することが出来る。

第24条 交通安全管理

- 1 受注者は、供用中の道路に係る工事の施工にあたっては、「道路工事の安全施設設置要綱（案）」（平成8年3月）等を参考に実施するものとし、より一層の安全対策を講じるものとする。

第25条 交通規制

- 1 受注者は施工上やむを得ず交通規制を実施する必要がある場合は、規制の計画を監督職員に提出するとともに、関係機関から指示された事項を行わなければならない。

第26条 制限車輛の使用許可

- 1 道路法第47条第1項および道路交通法等で制限された車輛を使用する場合は、許可証の写し（コピー）を監督職員に提出すること。

第27条 再生資材の使用

- 1 再生資材の使用にあたっては、プラント再生舗装技術指針及びコンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）等を遵守のうえ、適正な品質を確保すること。

また、資材及び適正な品質を確保できない場合は、監督職員と協議すること。

第28条 アスファルト舗装（表層）における石灰石使用

- 1 車道のアスファルト舗装において、表層のアスファルト混合物に使用する骨材に石灰石を使用してはならない。ただし、以下の場合はこの限りでない。

- (1) 車道のアスファルト舗装工（表層工）において、表層に再生アスファルト混合物を使用する場合のアスファルトコンクリート再生骨材に含まれている石灰

特記仕様書

令和7年10月1日 改正

石。ただし、補足材には石灰石を使用してはならない。

- (2) 車道の路上再生表層工において、既設アスファルト舗装に含まれている石灰石。ただし、補足材には石灰石を使用してはならない。
- 2 特にすべり止め効果を期待する場合は、本項1のただし書きは適用しないものとする。

第29条 事業損失防止対策

- 1 工事の施工にあたっては、建設公害の発生に充分留意して施工すること。(公害の予想される工種についてはあらかじめ地元関係者との協議および家屋調査、騒音、振動等の調査を行うとともに監督職員と協議して工事の円滑な施工に基づき実施しなければならない。)
- 2 地盤変動を原因とする事業損失
 - (1) 施工に伴う被害が予想され、発注者が家屋等の事前調査を実施している工事については、工事契約締結時『工事の施工に伴い第三者に及ぼした損害の補償に関する覚書』を締結すること。(覚書締結指定工事 表紙に記載)
 - (2) 工事中に被害が発生する恐れが生じた場合もしくは工事完了後被害が生じた場合は、その時点で『工事の施工に伴い第三者に及ぼした損害の補償に関する覚書』を締結すること。

第30条 地盤改良工事(六価クロム溶出試験)

- 1 地盤改良を行う場合は、土質試験を行い改良材及び配合量の確認を行うものとする。なお、試験結果によるものについては設計変更の対象とする。
- 2 上記により改良材がセメント系固化材に確定した場合、六価クロム溶出試験を行い、試験結果を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

第31条 生コンクリートの使用

- 1 生コンクリートを使用する場合は、高知県土木部制定「高知県建設工事共通仕様書」によるものとする。
- 2 コンクリートの材令28日強度試験については、「高知県生コンクリート工業組合技術センター」において行うものとする。

第32条 工事施工区間の既存表示板(基準点、境界板、水道、ガス等)の保護および復旧

- 1 受注者は、着工前に工事予定区間における既存表示板(以下「表示板」という)の調査を行い、すみやかに監督職員に報告を行うこと。
- 2 受注者は、工事に際しやむを得ず表示板を除去しなければならない時は、関係機

関と協議を行い、その対策を講ずること。

- 3 受注者は、施工時において表示板に損傷または破損を生じた場合は、すみやかに当該表示板の管理者と協議し、復旧しなければならない。
- 4 受注者は、工事に際し一般の通行に供する部分に設置した測点、仮BM等の板及び杭について工事完了後、必要なものを除き、すみやかに撤去すること。

第33条 宅地内からの排水口について

- 1 使用されているか否か十分に確認(記録に残す)を行い対応すること。
- 2 排水口については逆流防止対策等、監督職員と協議を行い実施しなければならない。

第34条 道路区域内の工事における標示施設の設置について

- 1 供用中の公共道路に係る工事を行う場合は、「道路工事における標示施設等の設置基準の一部改定について(国土交通省道路局長通知、平成18年3月31日 国道路利第37号・国道国防第205号)」に基づき、安全対策を講じなければならない。
参考) 道路工事現場における標示施設等の設置基準における道路工事の標示について(運用)

道路課ホームページ<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170701/>

第35条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第36条 設計変更等

設計変更等については、工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知市建設工事共通仕様書共通編1-1-1-14から1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては「工事請負契約における設計変更ガイドライン(令和3年4月(高知市))」によることとする。

第37条 「週休2日制工事」の実施について

本工事は、高知市「週休2日制工事」実施要領における週休2日制工事(月単位)である。

詳細については、下記に掲載する同要領を参照とすること。

高知市技術監理課ホームページ内

(<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukuyuhutsuka.html>)

なお、発注時において労務費等を補正済みであり、月単位の現場閉所率(週休2日交替制工事の場合は、休日率)が28.5%に満たない場合又は週休2日制工事が週休2日交替制工事に変更となった場合は、該当補正分を減額して契約変更を行うものとする。

第38条 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

本工事は熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の対象工事である。

実施にあたっては下記のホームページを参照すること。

高知市技術監理課ホームページ

(<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/>)

第39条 舗装版の切断作業時に発生する排水の処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとする。

また、処理数量については、処理実績により変更契約するものとする。

なお、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）を監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第40条 快適トイレの実施

1 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物のおける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場（トイレトーパー予備置き場等）

2 確認方法

受注者は、快適トイレ設置にあたり、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を工事に関する確認票に添付し、規格・基数等の詳細を監督職員へ提出することとする。

3 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用は、対象工事については当初から計上しており、基数・設置期間は設計図書に記載のとおり予定しているが、実際に現場に快適トイレを設置した基数・期間として設計変更を行うものとする。また、受注者の希望により設置する場合は、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とする。

なお、計上数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

4 その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第41条 現場環境改善費

1 現場環境改善費に要する費用（熱中症対策・防寒対策に要する費用を除く）

設計図書に現場環境改善費率が計上されている場合は、施工条件明示書に記載された内容から実施内容を受注者が選択し実施する。なお、発注者は受注者が実施する内容について、率分で計上される額を上回っていることを事前に確認し、実施後には積上げ計上分も含め、実施した内容を確認する。

2 熱中症対策・防寒対策に関する費用

熱中症対策・防寒対策を実施する場合は、施設・設備の種類や規模、設置期間及び概算費用等について、事前に協議を行うとともに、協議により認められた費用については、実施した内容を確認した上で設計変更の対象とする。

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路2-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	(93KH)	m3	600	
		床掘(土砂)	(14K)	m3	3,500	
		床掘(土砂)	(14K)	m3	540	
		床均し	(T)	m2	710	
	路床盛土工			式	1	
		路床(良質土)	(BV1)	m3	630	
		路床(良質土)	(BV2)	m3	140	
	埋戻工			式	1	
		B4-C(良質土)	(最大埋戻幅1m以上4m未満)	m3	730	
		B4-D(良質土)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	580	
		B3	(表土埋戻し)	m3	50	
	残土処理工・搬入土工			式	1	
		運搬	(10t、土砂)	m3	4,010	
		運搬	(4t、土砂)	m3	260	
		積込	(土砂)	m3	4,300	
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	4,270	
		搬入土	(良質土)	m3	2,000	
ブロック積工				式	1	
	3号ブロック積工			式	1	
		コンクリートブロック	(控え50cm)	m2	904	
		胴込コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	228	
		裏込砕石	(RC-40)	m3	303	
		目地材	(t=10mm)	m2	52	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	m	408	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	個	163	
		中詰めコンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	10	
		目地材	(t=10mm)	m2	4	
		マットレス基礎	(W=1.4m×H=0.4m)	m	408	
	足場工			式	1	
		足場工	(単管傾斜足場)	掛m2	450	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路2-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
カーポート工				式	1	
	4号函渠		(B=6.5m×H=1.5m)	式	1	
		基礎砕石	(RC-40、t=250mm)	m ²	40	
		均しコンクリート	(C=170kg/m ³)	m ³	8	
		型枠	(均しコンクリート)	m ²	5	
		コンクリート	(σ _{ck} =24N/mm ²)	m ³	52	
		鉄筋	(SD345、D13)	t	1.27	
		鉄筋	(SD345、D16～D25)	t	2.70	
		鉄筋	(SD345、D29～D32)	t	0.92	
		型枠	(鉄筋構造物)	m ²	110	
		足場工	(手摺先行型枠組足場)	掛m ²	90	
		支保工	(40kN/m ² 以下)	空m ³	49	
		護岸コンクリート		m	5	
		箱抜き	(ホトφ100)	m	2	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	17	
	5号函渠		(B=6.6m×H=1.5m)	式	1	
		基礎砕石	(RC-40、t=250mm)	m ²	31	
		均しコンクリート	(C=170kg/m ³)	m ³	6	
		型枠	(均しコンクリート)	m ²	5	
		コンクリート	(σ _{ck} =24N/mm ²)	m ³	39	
		鉄筋	(SD345、D13)	t	0.92	
		鉄筋	(SD345、D16～D25)	t	2.26	
		型枠	(鉄筋構造物)	m ²	86	
		足場工	(手摺先行型枠組足場)	掛m ²	83	
		支保工	(40kN/m ² 以下)	空m ³	38	
		護岸コンクリート		m	4	
		箱抜き	(ホトφ100)	m	2	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	15	
落差工				式	1	
	6号重力式擁壁			式	1	
		重力式擁壁	(σ _{ck} =18N/mm ²)	m ³	9	
		マットレス基礎	(W=2.6m×H=0.5m)	m	4	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路2-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
	止壁			式	1	
		止壁		箇所	1	
	取合わせ水路			式	1	
		取合わせ水路	(B3.0m×H1.2m)	m	2	
排水構造物工				式	1	
	底張工			式	1	
		コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	306	
		止め型枠	(小型構造物)	m ²	31	
		目地材	(t=10mm)	m ²	31	
		アンダードレーン	(ϕ 150mm)	m	204	
		ワイプホール	(ϕ 150mm)	箇所	4	
	水路工			式	1	
		2号U型水路	(B300×H300)	m	18	
		3号U型水路	(B400×H600)	m	2	
		4号U型水路	(B450×H500)	m	6	
		1号L型水路	(B400×H400)	m	1	
		2号L型水路	(B300×H400)	m	5	
		ヒューム管	(D300)	m	4	
擁壁工				式	1	
	1号重力式擁壁			式	1	
		平均擁壁高		m	2.3	
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	52	
	2号重力式擁壁			式	1	
		平均擁壁高		m	1.0	
		小型擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	172	
	4号重力式擁壁			式	1	
		擁壁高		m	1.7	
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	5	
	5号重力式擁壁			式	1	
		平均擁壁高		m	1.1	
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	7	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
区 分：水路2-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
坂路工				式	1	
	3号坂路			式	1	
		平均擁壁高		m	0.9	
		小型擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	5	
		鍍止め擁壁		m	3	
	4号坂路			式	1	
		平均擁壁高		m	1.1	
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	8	
		鍍止め擁壁		m	3	
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		路盤	(RC-40、t=10cm)	m ²	977	
		表層	(コンクリート、 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 、t=10cm)	m ³	100	
		丸鉄線溶接金網	($\phi 6-150-150$)	m ²	1,000	
		止め型枠	(小型構造物)	m ²	10	
		目地材	(t=10mm)	m ²	10	
	アスファルト舗装工			式	1	
		路盤	(RM-30、t=22cm)	m ²	45	
		表層	(再生密粒度Top13、t=5cm)	m ²	76	
防護柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	237	
		箱抜き	($\phi 100$)	m	14	
付帯工				式	1	
	構造物取壊し工			式	1	
		舗装版切断	(アスファルト、t=15cm以下)	m	8	
		舗装版破砕	(アスファルト)	m ²	76	
		As殻運搬処理	(アスファルト)	m ³	4	
		コンクリート構造物取壊し	(無筋構造物)	m ³	32	
		Con殻運搬処理	(無筋構造物)	m ³	32	
		コンクリート構造物取壊し	(鉄筋構造物)	m ³	157	
		Con殻運搬処理	(鉄筋構造物)	m ³	157	
	仮復旧工			式	1	
		表層	(再生密粒度Top13、t=3cm、選育材無)	m ²	76	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路2-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
		舗装版破砕	(アスファルト、t=15cm以下)	m2	76	
		As殻運搬処理	(アスファルト)	m3	2	
		不陸整正	(補足材無)	m2	45	
仮設工				式	1	
	仮締切工			式	1	
		大型土のう	(撤去)	袋	50	
		伐採木等運搬		台	1	
		廃プラスチック処分		m3	0.3	
	仮排水工			式	1	
		ポンプ設置・撤去		箇所	2	
		ポンプ運転	(120以上450未満) (常時排水)	日	164	発動発電機
		ポンプ運転	(120以上450未満) (常時排水)	日	164	発動発電機
		暗渠排水管	φ 150	m	408	
	交通管理工			式	1	
		交通誘導警備員	(A)	人	50	
		交通誘導警備員	(B)	人	50	
	工事用道路工			式	1	
		敷鉄板	(設置・撤去)	m2	1,273	
		敷鉄板	(賃料)	枚	137	
		覆工板	(設置・撤去)	式	1	覆工板・受桁・桁受
		覆工板	(賃料)	式	1	覆工板・受桁・桁受
共通仮設費				式	1	
	運搬費			式	1	
		仮設資材運搬	(往復)	t	219.81	敷鉄板
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t	219.81	敷鉄板
		仮設資材運搬	(往復)	t	9.77	覆工板
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t	9.77	覆工板
	地質調査費			式	1	
		簡易支持力試験		箇所	4	
	土質等試験費			式	1	
		コーン指数試験		試料	1	
	営繕費			式	1	
		快適トイレ	11ヵ月	基	2	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：新設水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
					設計数量	
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		表層	(コンクリート、 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 、 $t=10cm$)	m ³	47	
		丸鉄線溶接金網	(ϕ 6-150-150)	m ²	472	
		止め型枠	(小型構造物)	m ²	5	
		目地材	($t=10mm$)	m ²	5	
防護柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		転落防止柵(W)	(再利用撤去)	m	113	
		転落防止柵(W)	(再利用設置、コンクリート建込用)	m	113	
		転落防止柵(W)	(設置、コンクリート建込用)	m	126	
		削孔		孔	43	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	(93KH)	m3	450	
		床掘(土砂)	(14K)	m3	400	
	路体盛土工			式	1	
		路体(良質土)	(BV6)	m3	72	
	路床盛土工			式	1	
		路床(良質土)	(BV2)	m3	510	
	埋戻工			式	1	
		B4-D(良質土)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	310	
		B3	(表土埋戻し)	m3	79	
	残土処理工・搬入土工			式	1	
		運搬	(10t、土砂)	m3	360	
		運搬	(4t、土砂)	m3	400	
		積込	(土砂)	m3	760	
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	760	
		搬入土	(良質土)	m3	990	
擁壁工				式	1	
	1号重力式擁壁			式	1	
		擁壁高		m	2.3	
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	49	
	2号重力式擁壁			式	1	
		平均擁壁高		m	1.0	
		小型擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	225	
排水構造物工				式	1	
	現場打ちL型水路			式	1	
		コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	17	
		型枠	(小型構造物)	m2	130	
		鉄筋	(差筋 D13)	t	0.32	
		基礎砕石	(RC-40、t=15cm)	m2	65	
		止め型枠	(小型構造物)	m2	2	
		目地材	(t=10mm)	m2	2	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		路盤	(RC-40、t=10cm)	m2	1,600	
		表層	(コンクリート、σ ck=18N/mm2、t=10cm)	m3	160	
		丸鉄線溶接金網	(φ 6-150-150)	m2	1,597	
		止め型枠	(小型構造物)	m2	16	
		目地材	(t=10mm)	m2	16	
防護柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	325	
		削孔		孔	23	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路1-5

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	(94KH)	m3	110	
		床掘(土砂)	(14K)	m3	520	
	路床盛土工			式	1	
		路床(良質土)	(BV2)	m3	36	
	埋戻工			式	1	
		B4-D(良質土)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	350	
	残土処理工・搬入土工			式	1	
		運搬	(10t、土砂)	m3	110	
		運搬	(4t、土砂)	m3	520	
		積込	(土砂)	m3	640	
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	640	
		搬入土	(良質土)	m3	430	
擁壁工				式	1	
	2号重力式擁壁			式	1	
		平均擁壁高		m	0.8	
		小型擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	121	
	舗装止め擁壁			式	1	
		舗装止め擁壁		m	141	
舗装工				式	1	
	コンクリート舗装工			式	1	
		路盤	(RC-40、t=10cm)	m2	1,390	
		表層	(コンクリート、 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 、t=10cm)	m3	139	
		丸鉄線溶接金網	(ϕ 6-150-150)	m2	1,393	
		止め型枠	(小型構造物)	m2	14	
		目地材	(t=10mm)	m2	14	
防護柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	422	
		削孔		孔	134	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
 区 分：水路2-2

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要	
土工				式	1		
	掘削工			式	1		
		掘削	(93KH)	m3	110		
		掘削	(94KH)	m3	8		
		床掘(土砂)	(14K)	m3	240		
	路体盛土工			式	1		
		路体(良質土)	(BV5)	m3	8		
	路床盛土工			式	1		
		路床(良質土)	(BV2)	m3	120		
	埋戻工			式	1		
		B4-D(良質土)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	170		
		B3	(表土埋戻し)	m3	22		
	残土処理工・搬入土工			式	1		
		運搬	(10t、土砂)	m3	110		
		運搬	(4t、土砂)	m3	240		
		積込	(土砂)	m3	340		
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	340		
		搬入土	(良質土)	m3	340		
	擁壁工				式	1	
		1号重力式擁壁			式	1	
		擁壁高		m	2.5		
		重力式擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	15		
2号重力式擁壁				式	1		
		平均擁壁高		m	0.9		
	小型擁壁	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	90			
付帯構造物工				式	1		
	プレキャストU型側溝			式	1		
	プレキャストU型側溝	(道路用3種、PU3-B300-H300)	m	20			
舗装工				式	1		
	コンクリート舗装工			式	1		
		路盤	(RC-40、 $t=10cm$)	m2	563		
		表層	(コンクリート、 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ 、 $t=10cm$)	m3	56		
		丸鉄線溶接金網	($\phi 6-150-150$)	m2	563		

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その9）
区 分：水路2-2

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
					設計数量	
		止め型枠	(小型構造物)	m ²	6	
		目地材	(t=10mm)	m ²	6	
防護柵工				式	1	
	防護柵工			式	1	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	163	
		削孔		孔	57	

位置図



■ : 工事場所